

「分かる」ってうれしい

「できる」って楽しい

令和4年5月12日(木)

津谷小学校 校内研究部

予測困難な時代を豊かにたくましく生きるために必要とされる資質能力が変化するとともに、学校における子供たちの学びのスタイルも変化してきています。文部科学省からは「主体的・対話的で深い学び」という視点に立って授業改善を進めることが提唱され、私たち津谷小学校教職員は子供たちに自分以外の他者（友達・教師・地域人材・地域の自然環境等）と関わりながら思考させたり、自分の考えを言葉で適切により豊かに表現する力を高めさせたりすることを目指しています。

これからを生きる子供たちには、予測していなかった問題や課題と向き合ったときに、自らの力でどのような道筋でそれらを解決していくかという計画を立て、見通しをもって学んだり実践したりすることが求められることとなります。つまり、「これやってね」と言われたことだけをやるのでは、まだ不十分…と言っても過言ではないのです。これらのことを受け、本校では家庭学習の在り方について、保護者の方の協力をいただきながら次のように改善していきたいと考えます。

1 家庭学習の内容について

○毎日取り組むこと ※学年の発達段階や学習内容に応じて各学級の担任が指示します。

- ・音読練習
- ・漢字練習
- ・学習内容の復習（プリント等）

○自分で計画を立てて取り組むこと

- ・自主学习
- ・タブレットを使った問題練習（タブレットドリルの活用）



2 自主学习の内容について

○取組例

- ・授業で学んだことを振り返りながらまとめのノートを作成する。
- ・新出漢字を10字選び、その10字を全て使った日記や物語を書く。
- ・意味の似ていることわざや、組み立て方が同じ3字以上の熟語を集め、ロイロノートの思考ツールを使って類型化する。
- ・家族と一緒に掃除や料理に取り組み、ロイロノートを使って実践報告書をまとめる。
- ・担任の先生が書いた黒板を撮影して持ち帰り、家族の前で授業を再現する。
- ・6年生対象の「全国学力・学習状況調査」（文部科学省HPに過去問が掲載されています）の問題に挑戦する。

3 タブレット端末の効果的な利用について

学習内容や家庭学習の課題に応じて、タブレット端末を積極的に活用できるようにしていきます。家庭にタブレット端末を持ち帰ることもありますが、どの学年においてもタブレット端末は学習用具として扱います。学校での扱い方と同様にYouTubeで学習に関係のない動画を視聴することやゲーム等に使うことはさせないでください。使い方については学校でも十分に指導しますが、保護者の皆様からも声掛けと気配りをよろしくお願いいたします。



じっくり読書したり、自分の考えを整理しながら時間をかけてノートを作ったりする学習も大切にするため、また「メディア・コントロール」の観点から、今年度は「ノーメディアデー」を推奨する日（毎週月曜日・木曜日）を学校として設けたいと思います。お子様の家庭学習の様子を見守り、励ましていただきたいと思います。

4 プリントやノートの丸付け・朱書きについて（お願い）

漢字練習ノートや自主学習ノートに目を通し、その日取り組んだページへの確認印または簡単なコメントの記入に御協力ください。また、復習プリントは3年生以下の児童には「おうちで家族に丸付けをしてもらい、間違いを直してから提出」ということの習慣化を図りたいと思います。4年生以上の児童については「登校後に自分で丸付けをしてから提出」または「ロイロノートで担任が解答を送信し、家庭で丸付けをしてから提出する」ということの習慣化を図ります。御協力よろしくお願いいたします。

高学年は復習プリントに以下の3つのステップで取り組むように指示しています。

ステップ1「鉛筆タイム」

→目標時間を決め、短時間で集中して問題を解く。

ステップ2「赤ペンタイム」

→丸付けをし、自分がなぜ間違ったのかを考えて赤ペンで書き直しをする。

ステップ3「青ペンタイム」

→大切なことや気を付けることを青ペンで加筆する。

例：「どんなことですか。」と問われたら「○○○のことです。」と答える。

分数と小数の混ざった式では小数を分数に直して計算する。

たし算とかけ算が同じ式の中にあるときは、かけ算から計算する。 等々。

5 学習環境の整備について（お願い）

学習に夢中にさせるためには、学習環境の整備も大切です。学習に取り組むための机やテーブルの周りがある物を整理する、学習時間はテレビを消したり音量を下げる、学習に使わない場合はスマホやタブレットを預かるなど、小さな取組の積み重ねが子供たちの「夢中」につながります。こちらにも御協力いただきました。

子供たちに「学ぶことのおもしろさ」を実感させるために、保護者の皆様の御協力が必要です。私たちも本気になって頑張ります。御協力をよろしくお願いいたします。